

## 式 辞

春の日差しが日ごとに強く降り注ぎ、暖かい春の風が心地よく感じられる今日の佳き日に、渡邊一正同窓会長様、鈴木俊弘T A会長様並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに令和四年度群馬県立太田高等学校入学式が挙行できますことは、私ども教職員一同の大きな喜びであり、心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました二百八十二名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本日、伝統ある太田高校に新たな一員として加わる皆さんの入学を、心から歓迎いたします。

また、保護者の皆様におかれましても、ご息が健やかに成長され、高校生になられた喜びはひとしおのことと、心からお祝い申し上げます。

本校は、今年度、創立百二十五周年を迎える伝統校であり、創立以来「文武両道」「質実剛健」の校風を堅持し、これまでに三万名を超える卒業生を送り出し、卒業生は、国内のみならず世界各地、様々な分野においてそれぞれのリーダーとして活躍しているところであります。

新入生の皆さんは、今日から太田高生としてスタートを切ります。この三年間は皆さんの人生の柱を創る貴重な三年間となります。大いに学び、大いに部活動に励み、友と語り、不屈の精神で自分を鍛え、社会をリードする懐の深い人間に成長して欲しいと願っています。

太田高校で充実した3年間を送るために、2つのことを話します。

第1に、「夢は大きく！志は高く！」です。

太田高校では、「夢は大きく！志は高く！」を合い言葉に、21世紀の担い手となる社会の中核的リーダーの育成を目指しています。できるだけ早い段階で、できる限り「大きな夢」を持ってください。また、自分に限界を定めず、できる限り「高い志」を持って欲しいと願っています。太田高校への入学が決まった人生の節目である今だからこそ、自分の限界を定めず、改めて自分にとって大きすぎるぐらいの「夢」をもって欲しいと思います。また、その「夢」を「目標」に変えることも大切です。「夢」を具体的にしないと「目標」にはなりません。「目標」のないところに「意欲」はわきません。「意欲」のないところに「成果」は期待できません。だからこそ「大きな夢」をもち、「高い志」をもち、できるだけ具体的な「目標」をもって努力を重ねて欲しいと思います。

「夢は大きく！志は高く！」。この合い言葉は、これから皆さんに何度も話すつもりです。太田高校を卒業するまで、大きな夢に向けて、ぶれずに、最後まで諦めずに努力を続けてください。

第2に、「何事にも主体的に、積極的に行動すること」です。

皆さんは、これから三年間、様々な経験を重ね、大きく成長してくれることと期待していますが、太田高校での目指すレベルは相当に高いところにあります。学ぶ質も量も、中学時代に比べて格段に高く、そして多くなります。入学当初は慣れない環境の中で、様々な学習や行事が立て込むので油断禁物です。主体的に計画を立て、強い意志で実行し続けてください。高校入試を突破できた皆さんならば必ずや実行できると確信しています。また、担任や教科担当の先生方も皆さんをサポートしてくれることと思います。自ら主体的に積極的に取り組んでください。

また、本校の生活は学習ではありません。部活動や学校行事、HR活動や生徒会活動など様々な活動があります。文化祭、体育祭である煌斌(こうひん)祭、アメリカN A S A研修、企業訪問や個人探究を行う探究活動など様々な活動を通して、社会で求められている「主体性」や「コミュニケーション能力」、

「課題解決力」などの資質・能力をバランス良く身に付けることを目指しています。

先輩方は、太高生として当たり前のことを当たり前にする「太高プライド」を伝統として引き継ぎ、実践しています。学習に部活動、学校行事等、何事にも積極的にチャレンジする先輩が多いと感じています。この当たり前のことを当たり前にする「太高プライド」の実践こそ、太高生を大きく成長させている秘訣のひとつだと確信しています。入学後、様々な活動を提示するので、何事にも主体的・積極的に取り組み、臆することなく果敢にチャレンジして欲しいと思います。

最後になりますが、今日から始まる高校生活の中で心配なことのひとつに交通事故があります。例年、年度初めの4月・5月は、新入生は慣れない通学路を通うこととなるため、交通事故が多くなっています。自転車に乗る際はヘルメットを着用し、交通ルールを遵守し、細心の注意を払って登下校をしていただきたいと強くお願いします。

結びに、ご臨席を賜りました皆様方に、新入生の今後の成長を温かく見守っていただきますことをお願い申し上げます、式辞といたします。

令和四年四月八日

群馬県立太田高等学校長 丸橋 覚